

科目名	英語特講(B) Advanced English Communication (B)	科目コード	10570
-----	---	-------	-------

学科名・学年	全学科・5年（プログラム2年）
担当教員	市村勝己（一般教育科）
区分・単位数	履修単位科目・選択・2単位
開講時期・時間数	通年，60時間【内訳：講義58，その他2】
教科書	配布資料
補助教材	配布資料
参考書	英和・和英辞典

### 【A. 科目の概要と関連性】

英語によるスピーチやプレゼンテーションを行う上で必要とされる知識・技術について学習し、実際に人前でスピーチやプレゼンテーション（質疑応答を含む）の実践を行う。本科目は長岡技術科学大学アドバンストコースの「協働科目Ⅰ」の一つである（受講生は必ずしも長岡技術科学大学のアドバンストコース生になる必要はない）。

○関連する科目：英語Ⅲ（4年次履修），コミュニケーション特講（4年次選択）

### 【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(B)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
① 与えられた課題について英語によるスピーチ・プレゼンテーションが出来るよう必要な知識・技術を習得する。	30%	(e2)
② パワーポイントを使用し、英語でスピーチ・プレゼンテーションができる。	60%	(b3)
③ 英語での質疑応答が的確にできる。	10%	(b3)

### 【C. 履修上の注意】

- ・人前でのスピーチやプレゼンテーションに積極的に参加することが求められる
- ・外部講師の講義が含まれるため、授業計画に変更が生じる可能性がある。  
また、補講ができないことがあるので注意
- ・スピーチやプレゼンテーションの準備としてショートエッセイを書く課題がある

### 【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 英語によるスピーチ・プレゼンテーション（70%）
- その他（30%）[課題・授業への参加・発言など]

【E. 授業計画・内容】

● 前期

回	内容	備考
1	ガイダンス	
2	企業における英語プレゼンテーションとは	
3	専攻科生の3分英語プレゼンテーション	
4	パワーポイントによる発表資料作成方法	
5	プレゼンテーション・スキル	
6	パラグラフ・ライティング・スキル	
7	ショート・プレゼンテーション1 スクリプト作成	
8	ショート・プレゼンテーション2 スライド作成	
9	ショート・プレゼンテーション3 発表	
10	論理的思考方法1	外部講師（長岡技大）
11	論理的思考方法2	外部講師（長岡技大）
12	リスニング	
13	ディクテーション	
14	質疑応答のテクニック	
—		
15	発展授業	

● 後期

回	内容	備考
1	前期学習の振り返りと後期に向けて	
2	論理的思考方法3	外部講師（長岡技大）
3	論理的思考方法4	外部講師（長岡技大）
4	TED から学ぶ1	
5	TED から学ぶ2	
6	グループ・プレゼンテーション1	
7	グループ・プレゼンテーション2	
8	グループ・プレゼンテーション3	
9	発表会（5分プレゼンテーション）の課題、準備	
10	5分プレゼンテーション準備	
11	5分プレゼンテーション予行演習1	
12	5分プレゼンテーション予行演習2	
13	5分プレゼンテーション発表会	発表会は2月初旬を予定
14	発表会プレゼンテーションに対するフィードバック	
—		
15	発展授業	